

# 裏磐梯だより



磐梯朝日国立公園  
裏磐梯ビジターセンター



No.75  
2015年11月

## 小さな世界 ⑩

みなさんは、裏磐梯の紅葉が終わったこの時期、木にとまったりひらひらと飛んでいる昆虫を見たことはありますか？夏や秋にはトンボ、チョウ、バッタなど多くの昆虫を見かけますが、この時期はあまり見かけません。そんな天敵や他の昆虫も少ない時期にひらひらと飛んでいる昆虫の一種が「フユシャク」という蛾です。雄は翅がありますが、雌は翅が無いもしくは退化しているため、まるで別の生き物のようです。そのため飛ぶことはできませんが、フェロモンを放出することで雄に存在場所を知らせます。写真は、フユシャクの胸部でたくさんの毛があり、とても暖かそうです。人間で言うと首にファー（毛皮）のマフラーを巻いているようで、私も巻いてみたいと思いました。また、写真では分かりませんが、実際のこのフユシャクの毛は茶色で、それが一層暖かさを感じさせます。防寒対策をしっかりとした上で、晩秋の雰囲気を感じながらフユシャクを探してみてもはどうでしょうか？見つけたらフユシャクを驚かさないように観察してみてください。（「フユシャクの毛」2015年11月19日）

20 年 月 日  
来館記念スタンプをどうぞ

## ■ 冬支度 ■

皆さんの住んでいるところでは、冬の前にどんな準備をしますか？まだ冬の準備には早いところや準備が必要のないところもあると思います。

毎年1メートル以上の雪が積もる裏磐梯では、冬の準備が必要です。例年10月下旬に磐梯山や西吾妻山などが初冠雪し、ビジターセンター周辺も11月中旬に初雪が降ります。この時期になると道路の脇に赤白ポールが設置され、道路の除雪ドーザーなどの重機も点検などをして、いつでも出動できるようにします。



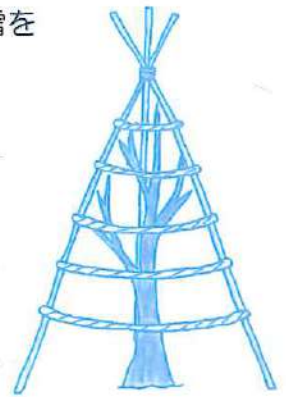
各家では、ストーブなどの暖房器具、防寒着、帽子、手袋、スノーシューズなどの準備や水道管が凍結しないように保温テープや凍結防止ヒーターなどを付け、使わない水道の水抜きをするなどの防寒対策をします。その他にも家の周りの雪を片づけるスノーダンプやスコップなどの

道具、窓や庭木などが雪の重みで割れたり、折れたりしないように雪囲いをし、車は、冬用タイヤとスノーワイパーに交換して、積もった雪を払うスノーブラシを準備するなど車も冬支度です。

このように雪の降らない地域にお住まいの方に比べると雪国では、冬を過ごすための様々な準備が必要で大変ですが、楽しみもあります。雪合戦やかまくら作りなどの雪遊び、水墨画のような一面の雪景色、雪の上についている動物たちの足跡など…自然をととても身近に感じることができます。



これから寒さ厳しい季節になりますが、きちんと防寒対策をして冬の楽しみを見つけてみませんか。



## ■ こんなの見なかった？ ■

裏磐梯でよく見かける不思議なもの…さて、なんででしょう？

森から緑の葉が落ちて、茶色が中心になり、雪の白一色に染まる時季。散策していて、ふっ。と木々を見上げると、鮮やかな黄緑色を見ることがあります。遠めで見ると、まるで一枚だけ残った葉っぱに見えるのですが、間近で見ると、葉っぱではないことが分かります。はて、気が付くとひと際、気になる黄緑色の葉っぱのような葉っぱではないもの。

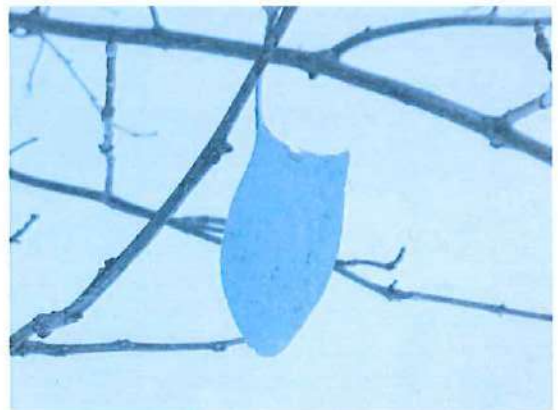
これは何でしょう？

- ①やっぱり、落葉しなかった、葉っぱ
- ②虫こぶ
- ③散策者のおやつ残り
- ④蛾の繭
- ⑤来春に向けてできた木の実や花、葉の赤ちゃん

正解は、④蛾の繭です。

正確には、ウスタビガの繭。繭もきれいですが、幼虫も鮮やかな黄緑色、成虫は羽根に丸窓の模様があるなどとてもきれいで人気の高い蛾です。見た目以外にも面白い特徴を持っていることも人気の秘密です。（その秘密は、また今度。）また、きれいな色の繭なので糸が取れるのか？と聞かれますが、取ることはできないようです。雌は羽化後、すぐに自分の繭に卵を産み付けます。かなり遅い時季に羽化するから、急がないといけないのかもしれないですね。

これから、白一色になる季節です。白銀の中に光る黄緑色の宝石を探してみてください!!



## ■ 自然人（しぜんびと）

■ 自然の中でがんばっている人たちを紹介します

このコーナーでは自然活動がんばっている若い方にスポットをあて、自然の魅力や活動、目標などを紹介していただきます。



今回は、ツインリンクもてぎ  
「ハローウッズ」の研修生  
さほらじゅん  
佐原潤さん（さはらん）です。

「ハローウッズ」  
ここです！



私は幼いころから自然の中で遊ぶのが好きでした。そこで自然の面白さ、楽しさを伝えられる人になりたいと思い、専門学校で2年間自然に関する勉強をしました。その後ベースプレーンワークに研修生として採用され、今はツインリンクもてぎの中にあるハローウッズで働いています。

ハローウッズでは森の中での自然解説、森の木を使ったクラフト教室、他にもお客様を募集して開催するキャンプなどが行われています。その中で私がお客様と接しているときに大事にしているのが、お客様に今まで知らなかった「気づき」を持って帰っていただくこと、自然を楽しんでもらうことです。生きている生き物を探し捕まえ触ったり、実際に自然に触れ感じることで自然や生き物に対する「気づき」を発見していただきたいのです。



本物に触れたり何かを体験して自分で感じたことは人に教えてもらうより印象に残ると思います。忘れないのが一番ですが、もし一度忘れてしまっても自分自身で体験、経験していれば、何かの拍子に思い出していただけるかもしれません。そうしていつの日かお客様の中で忘れることのない「気づき」になったときこそ私の行っている活動が意味のあるものになる時です。



最後に私のこれからの目標ですが、それは自然と人をつなぐ人になることです。喋ることのできない植物や動物といった生きものたち。そんな彼らのことを理解し他人に伝えられるようになるのが今の私の目標です。

★ハローウッズ★ <http://www.twinring.jp/hallowoods/>

## ■ ようこそ！ビジターセンターへ

■ 裏磐梯ビジターセンターの活動を紹介します

### 秋の講演会を開催しました！

11月11日（水）毎年恒例の秋の講演会を開催しました。今年は、新潟大学助教の望月翔太氏をお招きし「分布拡大中のイノシシとニホンジカの管理～個体数が少ない時期にやるべき対策とは～」というテーマでイノシシやニホンジカの特性、農地や自然に及ぼす影響、その対策についてわかりやすく話していただきました。

裏磐梯では、まだ目撃が少ないですが、今の段階で対策をしていかないと農作物や自然への被害が拡大していってしまうこと。個人ではなく、住民と行政が一緒になって対策をしていくことが大事だと強く感じる講演会でした。



閉館時間変更と

年末年始休館のお知らせ

※冬期開館時間 9:00~16:00  
 12月1日(火)~3月31日(木)  
 ※年末年始の休館日  
 12月29日(火)~1月3日(日)  
 ※ビジターセンターの隣のトイレは  
 ご利用いただけます。

冬のイベント

「冬のわくわく散歩」開催予定!



スノーシューを履いて毘沙門沼周辺の雪の森を歩きます。スノーシューや長靴のレンタルもあり、初めてスノーシューをする方におすすめのプログラムです。

※イベントの詳細は 12 月下旬にウェブサイトでお知らせします。

レンタルのお知らせ

今年もスノーシューのレンタルを開始します。



※詳しくは電話でお問合せください。

裏磐梯周辺の冬期閉鎖道路など

一般自動車道は除雪されますが冬用タイヤやタイヤチェーンなどが必要です。



冬の裏磐梯は積雪が1メートルを越えます。探勝路は除雪されませんので、スノーカーなどでの散策はできません。スノーシューなど、冬の装備を整えてお出かけください。

※磐梯吾妻スカイラインも冬期閉鎖です※

裏磐梯の初冬

すっかり山の木々の葉が落ちて雪が舞う季節の裏磐梯。少し寂しくなった森を歩いていると真っ赤なカンボクの実が目につきます。湖沼にはコハクチョウやオオバンなどの水鳥たちがやってきて賑やかになり、見通しのよくなった森では混群になったカウの仲間やマヒワ、ツグミ、ジョウビタキなどの冬鳥を見ることができます。



「裏磐梯だより」について

- ウェブサイトからもご覧いただけます!  
年間6回(奇数月)の発行ごとに更新します。
- 総集編 vol.1~3 販売中!!  
※各1冊 1,300円(税込)  
裏磐梯ビジターセンターにて販売しています。
- 郵送でお届けする定期購読も!  
ご住所とお名前を明記の上、82円切手6枚(1年間6回の送付分)を同封して裏磐梯ビジターセンター宛にご郵送ください。



★ビジターセンターの窓から★

今年は、だいぶ気温が高いです。窓から見える景色は毎年と変わらないように見えますが、何かが違う気がします。早く雪降らないかなあ。(わっしー)  
 今年は雪が降るのが遅いです。いつになったら白銀の世界を見ることができるのかな?(ろっぴ)  
 夏鳥から冬鳥にパトンタッチ!水鳥たちのかわいい「おしり」に見とれてしまいます。(ひろ)



—吾妻山の火山活動状況—

噴火警戒レベル2(火口から概ね500m規制)  
 火口から半径500m以内が規制範囲として立ち入りが禁止されています。

磐梯朝日国立公園 裏磐梯ビジターセンター

開館時間

夏季 4月~11月 午前9:00~午後5:00  
 冬季 12月~3月 午前9:00~午後4:00

休館日

毎週火曜日、年末年始  
 (火曜祝日の場合は開館し翌日休館)



入館無料

〒969-2701  
 福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峯 1093-697  
 TEL 0241-32-2850  
 FAX 0241-32-2851

ウェブサイト <http://www.urabandai-vc.jp>